



# 第1部

# 逗子消防のあゆみ



- 1 逗子消防発足まで
- 2 逗子消防70年の軌跡

# 逗子消防発足まで



田越橋

逗子消防の源は、明治27年の勅令第15号消防組規則の公布により、同年5月に田越村消防組を組織したことに始まる。当時は組を7部に分け、組員324名(組頭1名、小頭8名、消防手315名)が配置された。

明治30年に入ると逗子、桜山、小坪の3地区に金属製腕用ポンプが配置され、明治33年になるとこれが新宿、久木、山の根にも置かれ、翌年には田越村全区に整備された。また、大正2年の町制施行に伴い、翌年の10月に田越村消防組を逗子町消防組に改称し、大正4年4月には従来の7部制を8部制に改正するとともに、定員450名に増員した。昭和に入り、勅令第20号と神奈川県告示第139号により逗子町消防組を逗子町警防団に改称し、定員を360名に改正した。初代団長には滑川新平氏が任につき、自動四輪ポンプ車2車両、自動三輪ポンプ車1車両、手引ガソリンポンプ2台、腕用ポンプ3台、水道消火栓180基をもって消火、水防の警備に当たった。

昭和15年4月、三浦郡逗子町逗子975番地(現在の逗子市逗子5丁目4番33号)に逗子町警防団の部に属する機構として常備消防部が設置され、木造2階建庁舎132㎡に望楼及び加入電話1基と大型消防自動車2車両(レオ号、ハドソン号)並びに三輪消防車1車両を備え、人員は初代部長石井金太郎氏以下13名をもって発足した。

昭和18年に入り、国内情勢その他の理由により逗子町は横須賀市に合併し、常備消防部は人員、機械とともに神奈川県横須賀消防署に編入して逗子出張所と改め、官設消防として新しく出発した。

昭和23年3月、消防組織法の公布施行に伴い、それまで警察の一部に属していた消防はその傘下から独立し、関係法令が整備され、名称も横須賀市消防本部となり、新機構の自治体消防として再出発した。逗子消防は、横須賀市第一消防署所属の出張所として、主に逗子町内の消防の任に当たった。

# 逗子消防70年の軌跡

1950年（昭和25年）から2020年（令和2年）までのおもな出来事



【所在地】

三浦郡逗子町逗子975番地

(現在住所：逗子市逗子5丁目4番33号)

【規模】

敷地面積 490.5㎡ 延面積 255.0㎡

消防職員数…25名 消防団員数…225名



当時の国鉄逗子駅



当時の消防団幹部

## Topic! 1950年(昭和25年)

7月1日

横須賀市からの分離、独立に伴い、逗子町消防本部及び逗子町消防署を発足し、同時に逗子町消防団を発足

当時の庁舎



メモ情報

これまで配置されていた消防自動車2台と、これに伴う積載器具等をそのまま引き継ぎ、消防業務を開始した。



あおいうみ!



みどりゆたかな!



いわとし!

**Topic ! 1951年 (昭和26年)**

11月24日

第1分団、第2分団に消防ポンプ自動車を配置

12月25日

消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配置



水槽付消防ポンプ自動車

**Topic ! 1952年 (昭和27年)**

6月11日

第6分団、第8分団に三輪消防ポンプ自動車を配置

7月1日

消防署の消防ポンプ自動車の機装換えを行い、ホースカー2台を積載して機動力を強化



ホースの修理作業



ホースカー取扱訓練



当時の防火服



当時の逗子海岸駅



メモ情報

京急品川・逗子海岸間に直通海水浴特急の運転を開始した。同年に、国鉄東逗子駅が開設した。

# Topic! 1953年(昭和28年)

2月20日

第7分団に三輪消防ポンプ自動車を配置

6月10日

神奈川県下10市町において、消防相互応援協定を締結

7月1日

夏季期間中における避暑客等を主体に救急業務を開始



消防出初式



消防出初式



消火栓



当時の逗子海岸



消防訓練



メモ情報

夏の逗子は観光客などで普段の人口の約10倍にふくれあがる賑わいを見せた。消防署へは患者を病院に搬送する要請が高まり、応急救護対策の必要性に迫られた。



あおいうみ!

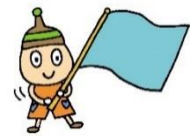


みどりゆたかな!



いわたし!

## Topic! 1954年(昭和29年)



4月15日

市制施行に伴い返子市消防本部、返子市消防署及び返子市消防団に改名

6月1日

第5分団に三輪消防ポンプ自動車を配置



改名後の消防庁舎



市制記念パレード



### メモ情報

1954年4月15日に市制記念パレードが行われ、商店街では多くの人で賑わった。返子市では現在、市の政治、経済、文化、社会その他の分野において市政の振興に寄与し、または広く市民の模範と認められる行為のあった個人、団体の功績をたたえるため、「返子市表彰条例」に基づき、地域社会功労表彰を行っている。

**Topic ! 1955年 (昭和30年)**

3月7日  
消防庁長官から竿頭綬を授与



放水銃搭載型水槽付消防ポンプ自動車

**Topic ! 1956年 (昭和31年)**

6月15日  
第4分団に小型動力ポンプを配置

12月17日  
消防署に放水銃を搭載した水槽付消防ポンプ  
自動車を配置



ホース延長

**Topic ! 1957年 (昭和32年)**

3月15日  
逗子市火災予防条例を制定

9月29日  
第3分団に消防ポンプ自動車を配置



制服一式  
みどりゆたかな！

**Topic ! 1958年 (昭和33年)**

3月30日  
消防本部に乗用車を配置



火災予防査察



あおいうみ！



みどりゆたかな！



いわたし！

## Topic ! 1959年(昭和34年)

2月19日

消防署と米陸軍池子弾薬庫基地消防隊間に直通電話を開設

10月12日

消防署に消防用中短波陸上無線局を開局



駐留軍池子キャンプ



台風による被害状況

## Topic ! 1960年(昭和35年)

7月25日

第9分団に小型動力ポンプ付三輪消防自動車を配置  
消防団に配置されていた手引ガソリンポンプは全て廃止

11月10日

消防本部・消防署庁舎を新築移転



手引ガソリンポンプ

### 【所在地】

逗子市桜山876番地

(現在住所：逗子市桜山2丁目3番31号)

### 【規模】

敷地面積 1,295.9㎡ 延面積 663.6㎡

鉄筋コンクリート造 2階建一部3階建

消防職員定数…28名 消防団員定数…139名



当時の庁舎内



昭和35年11月10日に庁舎を新築移転





メモ情報

1959年1月5日、逗子市沼間地内の通称「沖縄寮」から出火した。当時、周囲には県営住宅などの大規模木造建築物が多く存在していた。出場部隊は消防署のほか、市内全ての分団と隣接の鎌倉、横須賀及び米軍消防隊の応援を求めて消火に当たった。



沖縄寮付近の火災

### Topic! 1961年(昭和36年)

4月23日

消防署に火災、救急専用電話として119番の受信用電話機を設置

6月28日

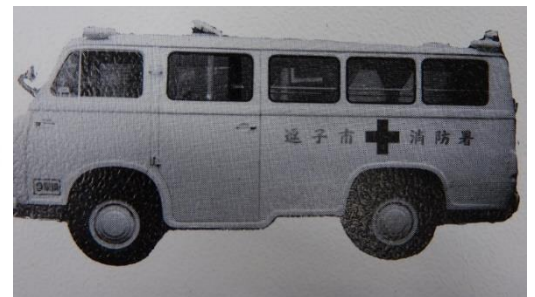
集中豪雨による未曾有の水害により、市街地の5分の1が浸水し、災害救助法が適用



### Topic! 1962年(昭和37年)

10月24日

消防署に大型粉末消火器6本を積載した消防ポンプ自動車を増強配置



当時の救急自動車

### Topic! 1963年(昭和38年)

7月15日

消防署に救急自動車を配置 救急業務を開始



## Topic! 1966年(昭和41年)

4月4日

消防救助隊員養成のため、8名の消防隊員を横浜市消防局へ派遣

同年5月に救助隊を発足



座席降下訓練



渡過訓練

広報記事



## Topic! 1967年(昭和42年)

9月13日

消防署に、消防用超短波携帯無線機4基を配置

## Topic! 1968年(昭和43年)

5月17日

小坪分署開庁

6月5日

消防署と鎌倉消防署間に直通電話を開設

### 【所在地】

逗子市新宿4丁目1,576番地の4  
(現在住所：逗子市新宿4丁目15番26号)

### 【規模】

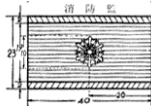
敷地面積 339.7㎡ 延面積 187.1㎡  
鉄筋コンクリート及びブロック造2階建  
消防職員定数…50名 消防団員定数…139名





## Topic! 1970年(昭和45年)

2月28日  
消防長の階級を消防監に改正  
同年3月1日から施行



救急訓練

## Topic! 1971年(昭和46年)

10月15日  
ピーポーサイレンを全救急自動車に装備



ピーポーサイレンを装備した救急車



## Topic! 1972年(昭和47年)

7月19日  
指令車を増強配置

11月19日  
圧縮空気製造施設を設置

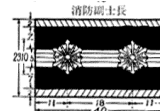


空気ボンベ充填室

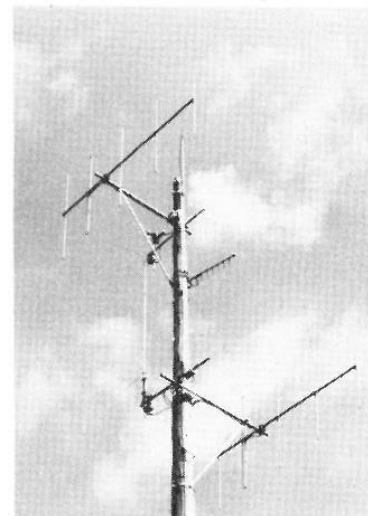
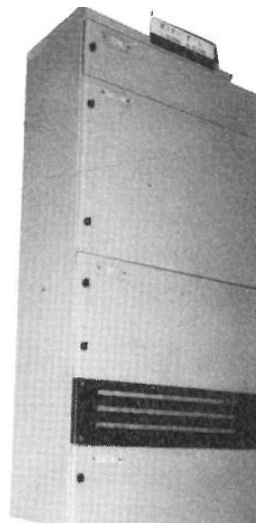
## Topic! 1969年(昭和44年)

3月25日  
消防署に神奈川県防災総合無線局を設置

4月1日  
消防副士長制度施行



9月20日  
消防署に救急自動車を増強配置



防災総合無線局



メモ情報

救急車とその他の緊急車両を区別する必要があった。また、搬送中の傷病者や救急車が通過する地域住民の生理的、心理的負担を軽減させようとする目的として、ピーポーサイレンが正式に採用された。



## Topic! 1973年(昭和48年)

10月1日

消防署にはしご付消防ポンプ自動車(24m級)を増強配置



救急自動車を増強配置



消防出初式



## Topic! 1974年(昭和49年)

1月1日

消防本部事務機構を3係(庶務・企画・予防)に改正

4月1日

小坪分署受持区域の救急事故の増加に伴い、小坪分署に救急自動車を配置



メモ情報

都市化の進展や中高層建築物の急激な増加に伴い、中高層災害に対処するため、はしご付消防ポンプ自動車を増強した。



消防訓練



火災予防査察





予防業務講習会

## Topic! 1975年(昭和50年)

1月15日

消防署に消防・救急一斉指令装置を設置

## Topic! 1978年(昭和53年)

1月1日

消防本部の機構改革を実施  
消防総務課及び消防予防課の2課に改正  
消防署に課長級の当直司令制度を導入



1月14日

市内谷戸地を中心に街頭消火器163本を設置



火災予防査察

## Topic! 1979年(昭和54年)

3月25日

消防署と東京ガス藤沢営業所間に直通電話を開設

4月1日

北分署開庁、分署長制度施行



メモ情報

1979年(昭和54年)12月8日に火災・地震等の災害に対する意識向上を図るため、市民を対象とした「第1回逗子市消防総合展」を実施した。

消防総合展



【所在地】

逗子市池子1丁目1番1号

【規模】

敷地面積 931.3㎡ 延面積 312.4㎡

鉄筋コンクリート造 一部2階建

消防職員定数…71名 消防団員定数…139名

みどりゆたかな!

北分署竣工式

いわたし!



あおいうみ!

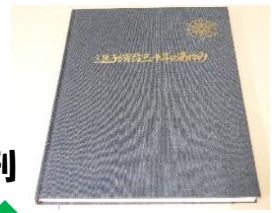




1981年（昭和56年）頃の街並み

## Topic ! 1980年（昭和55年）

12月1日  
返子消防三十年のあゆみを発刊



30周年記念誌



初代救助工作車



当時の防火ポスター

## Topic ! 1981年（昭和56年）

6月11日  
消防署と東京電力横須賀営業所間に直通電話を開設

## Topic ! 1982年（昭和57年）

4月7日  
消防署と日本道路公団川崎交通管制センター間に非常用及び業務用直通電話を開設

12月8日  
消防署に救助工作車を増強配置



メモ情報



1966年5月に各小隊のうち第二分隊（隊員5名）を消防隊兼救助隊として編成した。

特に当時は、約40名の職員が特別な研修を受け、過酷な訓練が日夜繰り返された。

消防出初式で日々の訓練を披露した際は、ひときわ歓声上がり、同時に消防に対する信頼をさらに高めるにいった。

その後、救助活動も複雑多様化し、次々と新資機材の整備が促進され、救助活動の万全をより一層高めるための車両配置であった。

## Topic ! 1983年(昭和58年)

3月31日

北分署に化学消防ポンプ自動車を増強配置



化学消防ポンプ自動車



小坪分署開庁式

## Topic ! 1986年(昭和61年)

4月1日

消防本部にパーソナルコンピューターを導入

7月1日

小坪分署・第7分団庁舎を新築移転

### 【所在地】

逗子市小坪5丁目449番地  
(現在住所：逗子市小坪5丁目21番4号)

### 【規模】

敷地面積 769.9㎡ 延面積 388.1㎡  
鉄筋コンクリート造 平屋建  
消防職員定数…76名 消防団員定数…139名



## Topic ! 1988年(昭和63年)

3月4日

衛星通信を利用した119番回線を開設

## Topic ! 1989年(平成元年)

3月6日

災害の防御と消防力の強化により、  
消防長長官から消防本部及び消防団に対し表彰旗が授与



119番通報の受信



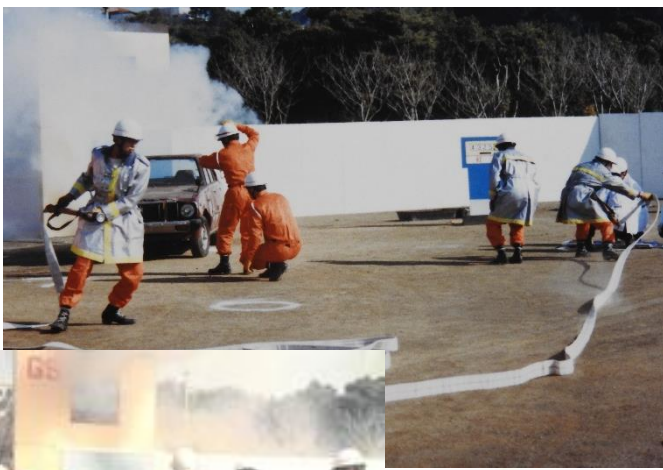
あおいうみ!



みどりゆたかな!



いわたし!



メモ情報

1989年の消防出初式は「危険物施設へ車両が衝突し、救出及び消火」する内容であった。



消防出初式

### Topic! 1990年(平成2年)

7月1日

消防本部・消防署庁舎建替えに伴い、逗子市民体育館脇の仮設庁舎へ移転

### Topic! 1992年(平成4年)

4月1日

消防本部・消防署庁舎が完成  
消防署に消防緊急情報システムⅡ型を導入し、救急波を設置



【所在地】  
逗子市桜山2丁目3番31号  
【規模】  
敷地面積 1,300.3㎡ 延面積 2,522.9㎡  
鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建  
消防職員定数…83名 消防団員定数…139名



配布されたパンフレット



消防本部・消防署開庁式





## Topic! 1993年(平成5年)

1月30日  
消防署に防災資機材運搬車を配置



2月25日  
消防署に高規格救急自動車を配置

10月13日  
消防署にはしご付消防自動車を配置



12月1日  
救急業務の高度化を図るため、救急救命士の運用開始



平成6年度神奈川県消防功労者表彰式



はしご付消防自動車



指令広報車



被災地の状況



被災地の状況

## Topic! 1995年(平成7年)

1月18日  
阪神・淡路大震災に救助隊を応援派遣

7月27日  
指令広報車を配置



メモ情報

阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時における人命救助活動等をより効果的かつ迅速に実施し得るよう緊急消防援助隊が創設された。



震災の現場へ出向した救助隊員



みどりゆたかな!



あいうみ!



いわとし!

**Topic ! 1996年(平成8年)**

4月1日

消防署の組織改正を行い、警備第一課及び警備第二課の課制を導入

10月1日

逗子市消防本部消防職員委員会を発足



消防職員委員会ポスター



防火ポスターコンクール審査会

**Topic ! 1998年(平成10年)**

2月4日

消防署にII型救助工作車を配置



II型救助工作車



資機材取扱訓練



**Topic ! 1999年(平成11年)**

3月31日

消防署及び第4分団に消防団緊急伝達システムの導入

11月9日

北分署に高規格救急自動車を配置



高規格救急自動車

## Topic! 2001年(平成13年)

2月28日  
第9分団に消防団緊急伝達システムの導入



消防団による訓練指導



## Topic! 2003年(平成15年)

2月1日  
返子消防ホームページを開設



## Topic! 2004年(平成16年)

1月20日  
第5分団に消防団緊急伝達システムの導入

3月10日  
消防署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を配置

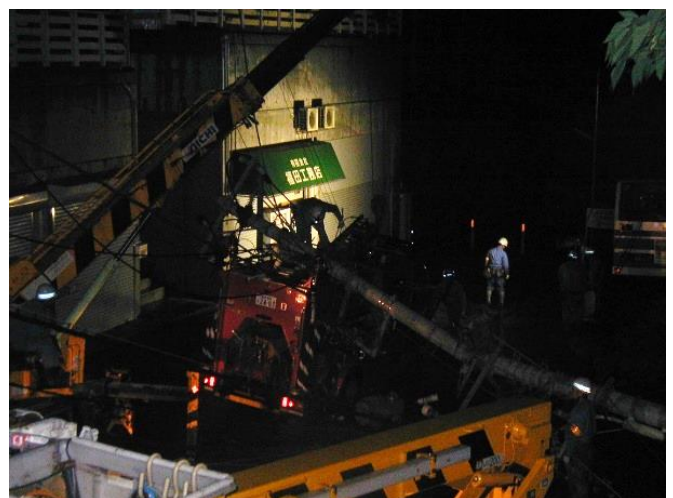
11月1日  
第8分団庁舎の新築移転に伴い、消防団緊急伝達システムの導入



メモ情報



災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車



下敷きになった消防車両



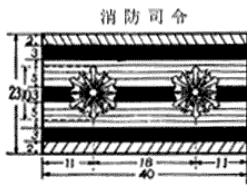
あおいうみ!



みどりゆたかな!



いわとし!



## Topic! 2006年(平成18年)

3月6日  
第1分団に消防団緊急伝達システムの導入

## Topic! 2007年(平成19年)

4月1日  
逗子市消防吏員階級等に関する規則を改正  
(消防長の階級を消防監から消防司令長へ)



日米消防隊の交流



屋内開催の消防出初式



第3分団

## Topic! 2009年(平成21年)

3月16日  
第3分団に消防団緊急伝達システムの導入

## Topic! 2010年(平成22年)

3月12日  
第6分団に消防団緊急伝達システムの導入

12月13日  
第7分団に消防団緊急伝達システムの導入



消防団水利部署訓練



消防本部・消防団合同訓練

## Topic! 2011年(平成23年)

3月11日

東日本大震災の被災地に緊急消防援助隊神奈川県隊として消防部隊を応援派遣

12月26日

第2分団に消防団緊急伝達システムの導入



神奈川県隊宿営所



倒壊建物付近を検索



被災地の状況



現地の活動状況



食事の状況

## Topic! 2012年(平成24年)

5月29日

各消防団車両等にデジタル簡易無線機を整備



メモ情報

2012年に、はしご付消防自動車を更新配備した。新旧のはしご付消防自動車を一度に同時撮影できたのは、この時だけだった。



左 新はしご車

右 旧はしご車

みどりゆたかな!



あいうみ!



いわたし!

## Topic! 2013年(平成25年)

12月3日

携帯・IP電話発信位置情報通知システムを設置



携帯・IP電話発信位置情報通知システム



第6分団地鎮祭

## Topic! 2014年(平成26年)

1月20日

防災活動車が寄贈され本団に配置

10月5日

第6分団庁舎を新築



第6分団庁舎

## Topic! 2015年(平成27年)

3月23日

圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車を配置



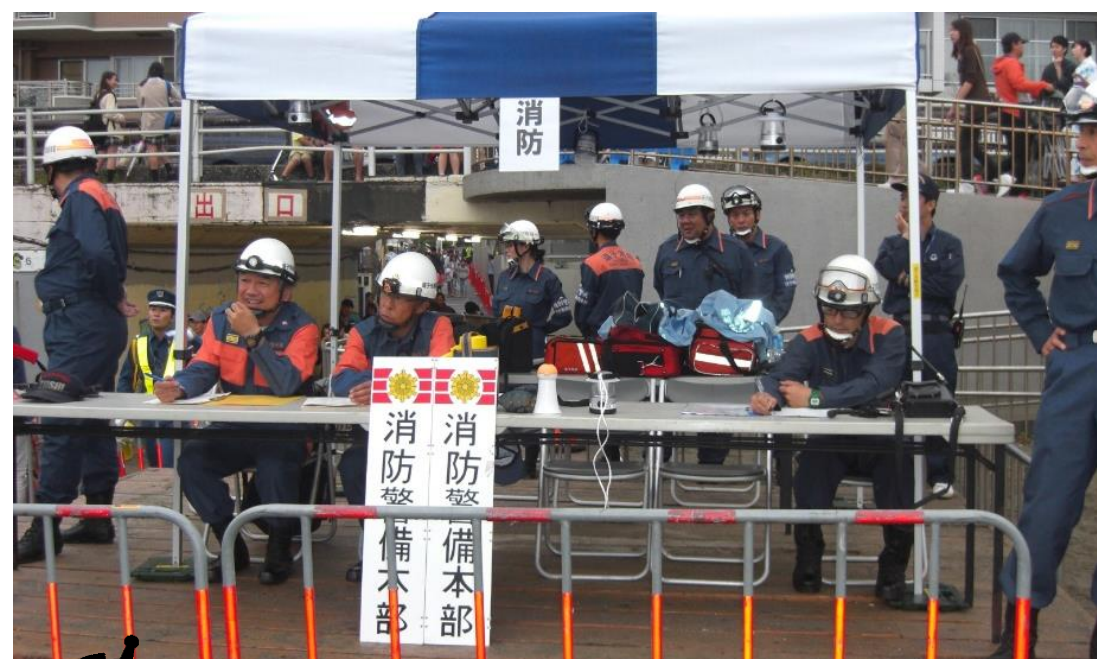
巡回中の消防車



圧縮空気泡消火装置付消防ポンプ自動車



日本消防協会から表彰旗を授与



逗子海岸花火大会 消防警備本部



×モ情報

2015年に実施された第58回逗子海岸花火大会は、打ち上げ数約7,000発ものスケールで、盛況に開催された。



小坪海岸トンネル付近でがけ崩れ

## Topic! 2016年(平成28年)

10月1日  
消防団本団に本市初の女性消防団員が誕生

12月1日  
北分署に女性用仮眠室を増設



蓄電池設備モニター



辞令交付式



## Topic! 2017年(平成29年)

3月24日  
消防本部庁舎に太陽光発電及び蓄電池設備を整備

4月1日  
北分署の配置人員を増強、消防隊及び救急隊を専従隊として運用

11月1日  
第9分団に救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車を配置

12月18日  
小型無人航空機(消防ドローン)が寄贈され運用開始



メモ情報

小型無人航空機は、上空から延焼状況や火の粉の飛散、残火状況の確認ができる。また、救助現場における負傷者や要救助者の捜索などに活用する。



救助資機材搭載型小型動力ポンプ積載車



小型無人航空機取扱訓練  
みどりゆたかな!



小型無人航空機



あおいうみ!



いわたし!

## Topic! 2018年(平成30年)

3月1日

特定非営利活動法人湘南海上安全協会と災害時における救助救援等の協力に関する覚書を締結

4月1日

消防総務課企画係の係名を警防救急係に変更



本市初の消防団協力事業所表示証の交付



災害時における救助救援等の協力に関する覚書締結式



第2分団庁舎



## Topic! 2019年(令和元年)

3月24日

第2分団庁舎を新築

4月1日

公益社団法人地域医療振興協会横須賀市立うわまち病院とドクターカーの運用に関する協定書を締結



## Topic! 2020年(令和2年)

11月27日

逗子市と民間6機関における水難救助の協力に関する協定の締結

7月1日

消防本部・消防団発足70周年



水難救助の協力に関する協定の締結式



70年分の逗子市消防年報

第1部